

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	放課後児童健全育成事業		
事業担当	健康・こども部 青少年課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'01	①〈地域力〉 地域組織や市民活動の力を育て、まちづくりに活かす	
	'03	3 地域社会で家庭や地域の子育てする力を高める	
根拠法令等	児童福祉法、平塚市放課後児童クラブ条例、平塚市放課後児童クラブに関する実施要綱		
対象・受益者	小学生及び保護者	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 】 【協働： 放課後児童健全育成事業運営委員 】		
目的・目標		事業の概要	
保護者が昼間家庭にいない児童を対象に、家庭に代わる生活の場として放課後児童クラブを運営し、適切な遊びや指導を行うことで、児童の健全育成と、仕事と子育ての両立が実現しています。		柔軟で効率的な事業展開を図るため、事業運営を放課後児童クラブへ委託するとともに、安心・安全な保育環境実現のため、民間借家の放課後児童クラブを小学校余裕教室などの公共施設への移設を進めます。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	施設整備に係る協議回数			単位	回
	説明・算定式	公共施設管理者や既存利用団体との交渉などの回数、専用施設建設に係る交渉などの回数				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	10	10	10	10	
	実績	10	10	10		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	施設整備件数			単位	件
	説明・算定式	既存公共施設への移設(分割を含む)や専用施設の建設などの整備件数の累計				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	12	14	17	18	
	実績	14	16	17		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成23年度の主な取組と成果						
平成23年度は、真土学童クラブを真土小学校へ移転しました。また、富士見第2学童クラブの富士見小学校への移転が確定し、移転の準備業務を進めました。中原小学校、勝原小学校への移転についても関係課等と協議した結果、移転の方向で進んでいます。						
平成23年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	児童福祉法で市町村が実施に努めるべき事業と定めており、また最近では、女性の社会進出や児童が被害者になる犯罪の増加からニーズも高く、市が取り組む事業として高い必要性があります。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	少子化が進行する中でも学童保育の利用者は増加しており、その充実が市民満足度を高めるうえで有効です。少子化対策や次世代の健全育成を図るためにも有効な事業です。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	学童保育が公的サービスであることから、応能負担の原則により、世帯収入に応じた適切な利用料金を研究する必要があります。また、ニーズが拡大していることから、人員配置の充実も求められます。	○ 高 ● 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	学童保育の運営は、保護者会を始めとする各種団体への委託方式により行われていますが、保護者会運営は働く親にとって負担になっているので、社会福祉法人やNPO団体等の活用も検討する必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 女性の社会進出などにより学童保育のニーズが益々高まっている上、近年の地震等自然災害の発生や犯罪増加傾向等を反映し、学童保育の安心・安全が求められています。このため、学童保育の充実と、民間借家で運営されている学童保育についてはできるだけ速やかに公設建物へ移転を進めていく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		児童クラブへの運営委託、施設整備など	児童クラブへの運営委託、施設整備等の実施	児童クラブへの運営委託、施設整備等の実施	児童クラブへの運営委託、施設整備等の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	62,810	71,100	74,771	83,888
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	117,134	115,510	148,670	142,436
事業費 (A)		179,944	186,610	223,441	226,324
執行率 (%)		98.58	93.15	96.41	
内訳	職員 (人)	0.90	0.90	0.90	1.35
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		7,521	7,434	7,294	10,821
フルコスト (A+B)		187,465	194,044	230,735	237,145

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針 学校の余裕教室などの既存公共施設の有効利用、公共施設が利用できない場合には専用施設を建設するという従来の方針に基づき、学童保育の公設化を進めるとともに、大規模学童の分割も検討します。なお、平成25年度も既存施設の有効利用を優先した移転に取り組めます。
課長コメント 夫婦共働き、男女共同参画推進などにより、放課後児童クラブに対する市民ニーズは高いものがあります。保育環境の改善を図るために、良好な施設の確保や指導員の確保・待遇などについての課題を一つずつ整理しながら事業をより充実させていきます。